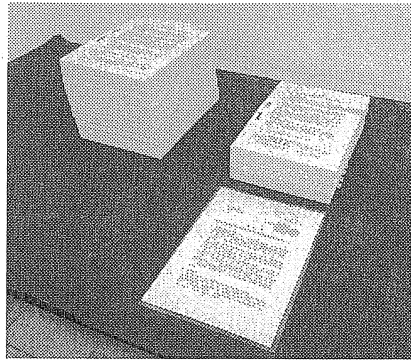


全国運代行協会(丹羽一嘉国土交通相宛てに丹澤義会長)は15日、新型コロナウイルスによる「運代行事業者は(減収で)最後のところまで追いつめられている。国からの支援措置」を求める緊急要望書を、約3600人の署名とともに赤羽一嘉国土交通相宛てに提出した。丹澤会長は「運代行事業者は(減収で)最後のところまで追いつめられている。国からの支援措置」を求める緊急要望書を、約3600人の署名とともに赤羽一嘉国土交通相宛てに提出した。



山積みされた署名用紙。各地から事務所に届いた(14日、東京・中央区)

大型連休に入る4月28日から署名を集めた。経営者、従業員らを対象に郵送やファクス、電子メールのほか、電子署名で受け付けた。締め切り日を当初、8日に設定していたが、コロ

## 3600人の署名提出 「コロナ支援 一日も早く」

全運協、赤羽国交相宛てに



丹澤会長

ナ禍で郵便事情が悪く、会員に周知が遅れたり、ぎりぎりまで多くの署名用紙が事務局に届いていたりしたため、14日まで延ばした。

国交省自動車局の職員がコロナに感染した影響で、同省を訪問せず、宅配便で送った。

「当協会では、5月と6月の会費を免除することと検討している」

「支援要望で3600人余の署名が集まった。」

「ジェイ・デイ(JD)共済協同組合とともに事業者に状況を聞き、飲食店やお客などいろいろな方々に資料を配って現状を理解してもらった。今、現在も署名が届いている者」

「聞き手」宮本佳史記

「運代行事業者はタクシードライバーの確保にみんな苦労してきた。(新型コロナウイルスの外出自粛要請で)飲み歩く人が減り、われわれのお客がいない状況が何カ月も続いている。収入は大幅に落ち、事務所の家賃や車両費、保険料、人件費が負担となっている。苦境を乗り越えるか、乗り切れないかの瀬戸際にいる」

「運代行サービスは必要不可欠だと認めていただいた。運行業務を継続し、お客からの配車にいつでも対応できるようにするには、ドライバーの人件費など経費がかかる。苦しいのは運代行だけではないことは分かっているが、限度がある。提出した緊急要望書に目を通していただき、一日も早い補助をお願いしたい」

全運協の丹澤会長に現況を聞いた。

「運代行業界の現状は。」

「運代行事業者はタクシードライバーの確保にみんな苦労してきた。(新型コロナウイルスの外出自粛要請で)飲み歩く人が減り、われわれのお客がいない状況が何カ月も続いている。収入は大幅に落ち、事務所の家賃や車両費、保険料、人件費が負担となっている。苦境を乗り越えるか、乗り切れないかの瀬戸際にいる」

「運代行事業者はタクシードライバーの確保にみんな苦労してきた。(新型コロナウイルスの外出自粛要請で)飲み歩く人が減り、われわれのお客がいない状況が何カ月も続いている。収入は大幅に落ち、事務所の家賃や車両費、保険料、人件費が負担となっている。苦境を乗り越えるか、乗り切れないかの瀬戸際にいる」